

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

申請日: 令和6年10月8日

①学校名:	秋田大学 大学院(国立)		②所在地:	秋田県秋田市本道一丁目1番1号	
③課程名:	秋田大学大学院医学系研究科 保健学専攻(博士前期課程)がん看護専門看護師(CNS)コース				
④正規課程/ 履修証明プログラム:	正規課程(修士)	⑤定員:	医学系研究科保健学専攻 (博士前期課程)12名 (令和3年度がん看護専門看護師CNS コース修了者1名)	⑥期間:	2年間
⑦責任者:	大学院医学系研究科長 羽瀨 友則		⑧開設年月日:	平成22年4月1日	
⑨申請する課程 の目的・概要:	目的: がんと共に生きる人々を全人的に理解し、最期まで苦痛に対する十分な緩和ケアと質の高いQOLが保証できるよう、高度ながん看護に必要な理論と実践方法を学び、さらになん看護の発展に寄与する課題を探究する。また、医療環境や技術の急速な変化・発展に対応できる高い倫理性と柔軟な適応能力を備え、保健医療の中核を担える専門家を育成し、人々の健康と福祉に広く貢献することを目的とする。 概要: がん看護CNSコースでは、がんと共に生きる人々とケア提供者の課題解決とケアの質向上のため、実践、相談、調整、倫理調整、教育、および研究の6つの役割を担う、高度な実践能力をもつ専門職を育成する。				
⑩10テーマへの 該当	1 女性活躍	3 中小企業活性化	5 環境保全	7 医療介護 ○	9 起業
	2 地方創生	4 DX	6 就労支援	8 ビジネス等	10 防災危機管理
⑪履修資格:	・学校教育法第103条に規定する大学院に入学することができる者 ・がん看護の経験を5年以上有する者 ・本学の規程に定める者				
⑫対象とする職 業の種類:	看護師				
⑬身に付けること のできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・がんと共に生きる人々を身体的、心理的、社会的、スピリチュアルな存在として理解するための知識 ・最期まで苦痛に対する十分な緩和ケアと質の高いQOLが保証できるような、高度ながん看護に必要な理論と実践 ・がん看護の発展に寄与する課題の探究するための知識 (得られる能力) ・患者の病態・生活背景・価値観に基づいたアセスメントを行う能力 ・高度ながん看護に必要な理論と実践能力 ・倫理的意思決定能力 ・問題解決に向けて多職種と効果的に協働する能力(チームワーク・協働能力)。 ・自らの看護実践を振り返り課題を考察し、CNSとしての役割開発に向けて活動する能力				
⑭教育課程:	現代のがん医療や保健医療の現状と課題についての理解を基盤に、秋田県の実生活環境の特性と健康問題に対する支援を探究するため、保健学特論を開講している。さらに、保健・医療・福祉チームのリーダーシップを担う人材育成の基本として高い倫理性が求められるため、倫理的意意思決定能力を修得させる看護倫理学を必修とする。また、国際的視野を持って活動できることをめざし、国際保健医療協力論を隔年で開講する。 地域や医療における対象の健康上のニーズを的確に判断し、医学的根拠、データから論理的な臨床推論を行うための知識を修得する科目として看護学研究方法論と看護教育学、医療健康福祉制度の活用・開発能力及び包括的健康アセスメント能力を育成するため、看護政策論を必修科目とするとともに、基礎看護学特論、地域・在宅看護学特論Ⅰ・Ⅱを開講し実践能力の向上をめざし、対象理解のための理論と健康問題解決のための援助方法を探究するため、成人期支援看護学特論、高齢期支援看護学特論、女性・小児・家族支援看護学特論を開講する。 本コースの必修科目のがん病態生理学やがん薬物療法看護では、がんについて基礎医学・臨床医学から系統的に学び、がん看護の専門職者として必要な知識を習得する。がん看護理論、がん看護援助論、緩和ケア特論や緩和ケア演習では、一般的な監護では解決困難な患者と家族の包括的アセスメントとエビデンスに基づいた緩和ケアについて課題解決型学修、ロールプレイなどのアクティブ・ラーニングを取り入れて学ぶ。 がん看護学実習は5つあり、外来や地域、病院の様々な診療・療養の場において、がん看護専門看護師としての役割を理解し、チーム医療における多職種連携を重視しながら、自らの看護実践を振り返り課題を考察し、CNSとしての役割開発に向けて活動する能力を修得させる。				
⑮修了要件(修了 授業時数等):	本研究科に2年以上在学して、所定の単位46単位以上を修得し、かつ、必要な論文指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格すること。				
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	(学位名)修士(看護学) (大学独自の資格等)CNS資格認定試験受験資格				

①総授業時数:	67	単位	⑩要件該当 授業時数:	46	単位	⑪要件該当授業時数 ／総授業時数:	68.7	%
⑫該当要件	企業等	○	双方向	○	実務家	○	実地	○
⑬成績評価の方法:	成績評価は、プレゼンテーションやディスカッション、演習や課題レポート、筆記試験など各科目で設定された方法により行う。技能を伴う科目の評価は、実技試験、臨地実習評価など(レポート、実習評価表、実習指導報告書および自己評価等を取りまとめたポートフォリオなど)により行う。特別研究及び課題研究では、進捗状況が各年次で達成すべき水準に到達しているか発表会等にて確認する。最終試験は公開での口頭発表とし、十分な質疑応答を行う。							
⑭自己点検・評価の方法:	秋田大学では、学校教育法第109条第1項に基づき、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の大学機関別認証評価を受けている。また、各事業年度の業務実績について評価・報告を行っており、当該検証・評価結果については本学ホームページにおいて公表する。							
⑮修了者の状況に係る効果検証の方法:	コースを修了した全員が日本看護協会の実施する専門看護師認定審査を受験し合格しているが、修了生の支援および実践活動の向上のため事例検討会を定期開催している。この後は、がん看護専門看護師として果たしている役割実践について、施設の背景や活動の内容について調査し、教育効果を検証する。							
⑯企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 実習計画の確認、実習の進捗状況、実習の成果及び評価について施設間の情報共有を図るため定期的に会議を開催する。 (自己点検・評価) 実習施設に学生の進捗状況や実施状況を確認するため、定期的に会議を開催する。実習の評価を行い改善点がある場合や実習内容の変更が必要になる場合は、看護系大学協議会に相談の上で改善を図る。							
⑰社会人が受講しやすい工夫:	授業は社会人が受講しやすいように夜間や土曜日開講しているほか、WebClassやZoom、オンデマンド授業等多様なメディアを利用している。 また、職業を有している者等に対し、標準修業年限を超えて一定の期間(3年又は4年)にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することができるよう、長期履修制度を設けている。							
⑱ホームページ:	https://www.med.akita-u.ac.jp/hoken/graduate_school/master/kangoryuiki.php#gancns							